

三里塚・ジェット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉碎！

動労千葉結成1周年記念 第2回野球大会

日刊 動労千葉

80.6.23
No. 463

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二五八〇九(公巻)四五二七二〇七

国鉄千葉動力車労働組合

ベスト4に新小岩・幕張・館山・勝浦が進出 準決勝・決勝戦は27日に!!

動労千葉結成一周年記念第二回野球大会は、十八日、十時より千葉市内天台県営スポーツセンターで開催され、八支部が出場し、熱戦を展開した。特に初出場の木更津支部が、若さにものをいわせ昨年度優勝チームの館山支部と終始互角に試合を進め惜しくも敗れたものも善戦するなど、非常に盛り上った大会となった。そして、来る二十七日、九時三十分より、相銀グラウンドで、この日勝ち抜いた新小岩、幕張、館山、勝浦の四支部の間で準決勝・決勝戦が行なわれる。

A グラウンド 第1試合

新小岩 121005 9
千葉転 100000 1

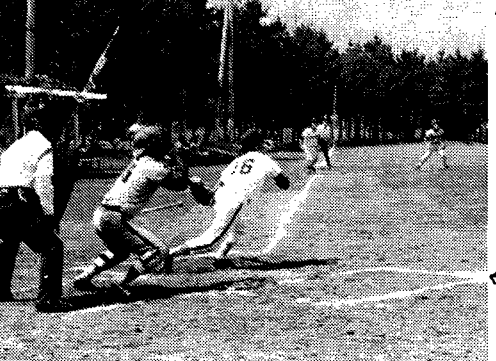
小雨のバラツク中、1対1で迎えた二回の表、新小岩は1エラー、1四球に続く一番関の中越え2塁打で2点、三回には渡辺のホームラン。六回には六番松本(隆)から始まり松本(親)の3塁打を含む6長短打で5点を上げ試合を決めた。一方、千葉転は、二回以降打線奮わず六回コールド。

A グラウンド 第2試合

木更津 0100000 1
館山 0101000 2×1

木更津念願の野球部を結成して初出場。前回優勝の館山支部といかに闘うか注目。

二回の表木更津四番佐野、相手内野陣のエラー、暴投により一挙3塁に達し、六番渡辺の中犠飛で1点を先行。その裏館山も四番篠生3塁エラーで出塁、五番後藤の左安打で同点、さらに四回裏、相手のエラーと六番和田のセンターへの安打で1点を追加、以後、木更津の斉藤、館山の吉野、三十八歳の両投手、肉体的衰えを口でカバーしつつ好投。五回、木更津・斉藤投手の負傷というハプニングがあったが、後続内藤が好投。緊迫した好試合は結局四回の1点が勝敗を分け館山の勝ち。



←8千-ムが勢ぞろいして南会式

←熱のこもった好プレーが続いた

B グラウンド 第2試合

幕張 0020120 5
津田沼 0020100 3

双方投手の立上りよく、二回まで無得点。三回の表幕張、八番伊藤四球、ワイルドピッチで2進。その裏津田沼の反撃は九番関川四球、一番ピゴロでホースアウト、しかし盗塁と二番古川の右越えの2塁打で1点を返えし、続く庄司の右前安打は2塁をよくばってタッチアウトとなるも四番石川の中前安打で同点。

B グラウンド 第1試合

勝浦 12203 8
成田 00010 1

はげしく燃える勝浦は一回に二番恋塚、二回に七番高梨、五回に田中と三本のホームランと2塁打三本など一方的なゲーム展開となる。成田は四回二番日暮四球、五番神崎中前安打、六番鈴木左越2塁打で1点を返したが、結局打線奮わず五回コールド。

幕張は五回表、一死後、当り屋鎌田の左中間2塁打、三番境の3遊間ヒットで1点、津田沼もその裏、2アウトから三番庄司四球、四番石川のヒット、さらに四球で満塁となり、ピッチャー境に交代。ワイルドピッチにより再度同点。しかし、津田沼はこの後ホームスチール失敗で絶好の逆転機を逸し、三回の拙攻とともに勝てる試合を失った。六回、幕張は、2四球、フィールダーチョイス、一番鎌田の安打などで2点を上げ、そのまま逃げ切る。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！